## 生食用食肉(牛肉)評価書 記載項目

項目	生食用食肉(牛肉)評価書(食品安全委員会)
	微生物・ウイルス評価書
	生食用食肉(牛肉)における腸管出血性大腸菌及びサルモネラ属菌
	目次
	<審議の経緯>
	<食品安全員会委員名簿>
	<食品安全委員会微生物・ウイルス専門調査会専門委員名簿>
	<評価書起草委員名簿>
	要 約
前書き	I. はじめに
	Ⅱ.要請の経緯
	1. 背景.
	2. 現行の生食用食肉の衛生基準の内容
	(1)生食用食肉の成分規格目標
	(2)生食用食肉の加工等基準目標
	(3)生食用食肉の保存等基準目標
	(4)生食用食肉の表示基準目標
	3. 評価要請の内容
	(1)評価要請の内容
	(2)リスク管理機関(厚生労働省)の考え方
	(3)規格基準案
	Ⅲ. 基本的考え方
ハザード関連	Ⅳ. 食品健康影響評価
情報整理	1. 危害の特定
(Hazard	(1)評価の対象とする肉及び微生物の概要
Identification)	(2)腸管出血性大腸菌
	①分類(血清型)
	②形態等
	③増殖及び抑制条件
	④毒素産生性
	⑤自然界での分布と感染源
	(3)サルモネラ属菌
	①分類(血清型)
	②形態等 ② M S T T T T T T T T T T T T T T T T T T
	③増殖及び抑制条件
	④自然界での分布と感染源
	⑤薬剤感受性
	⑥本評価書で対象とするサルモネラ属菌について

## ハザードによる 2. 危害特性 (1)腸管出血性大腸菌によって引き起こされる疾病の特徴 健康被害解析 (Hazard ①症状、潜伏期間等 ②排菌期間 Characterization) ③Stx の毒性及びその作用機序 4治療法 ⑤患者発生状況 ⑥溶血症尿毒症症候群(HUS) ⑦感受性集団 ⑧死者数 (2)腸管出血性大腸菌食中毒の原因と特徴 ①原因食品 ②原因施設 ③食中毒発生状況 (3)サルモネラ属菌によって引き起こされる疾病の特徴 ①症状、潜伏期間等 2治療法 ③感染性胃腸炎患者の概要 (4)サルモネラ属菌食中毒の原因と特徴 ①原因食品 ②原因施設 ③発生状況 (5)生肉の喫食による腸管出血性大腸菌及びサルモネラ属菌食中毒 (6)用量反応関係 暴露評価 3. 暴露評価 (1)フードチェーンの概要と汚染の状況 (Exposure Assessment) (2)污染状況 ①生産段階 ②と畜場 ③食肉処理·加工段階 ④流通·販売·消費 (3)汚染の要因と制御 ①と殺・解体 ②枝肉から部分肉への加工 ③精肉の取扱い ④肉塊の加熱処理効果 (4)生食用食肉を取り扱う施設に対する緊急監視について (5)喫食実態 ①食品安全委員会による調査結果 ②埼玉県による調査結果 ③富山県による調査結果 4 牛肉喫食状況インターネット調査結果

	(6)まとめ
リスク特性解析	4. リスク特性解析
(Risk	リスク特性解析の目的
Characterization)	(1)FSO 0.014 cfu/g の評価
	①患者数と死者数からのアプローチ
	②用量反応関数を適用して算出した発症確率による検証
	(2)提案された FSO から導き出した PO(0.0014 cfu/g)の評価
	(3)規格基準案により 0.0014 cfu/g という PO が達成できるかどうかについての評価
	①生食用牛肉に関する加工基準及び成分規格の意義
	②PO が達成されるかどうかに関する評価
	③規格基準案の加工基準により PO が達成されるかどうかに関する評価
考察等	V. 食品健康影響評価(まとめ)
	VI. 今後の課題
参照	<略語一覧>
	参照
付属書	別添 1 評価書表 1 に示した規格基準(案)の考え方(厚生労働省)
	別添2 「食品健康影響評価のためのリスクプロファイル~牛肉を主とする食肉中の
	腸管出血性大腸菌(改訂版)」(食品安全委員会)
	別添3 「食品健康影響評価のためのリスクプロファイル~鶏肉における
	サルモネラ属菌(改訂版)~」(食品安全委員会 微生物・ウイルス専門調査会)
	別添4 「生食用食肉を取り扱う施設に対する緊急監視の結果について」
	(2011 年 6 月 14 日、厚生労働省)
	別添5 平成 23 年度食品安全確保総合調査「腸管出血性大腸菌の食品健康影響評価
	に関する調査」成績の概要
	別添6 生食用食肉等の安全性確保について
	別添7.1 腸管出血性大腸菌 O157 の牛肉内浸潤と加熱処理による低減効果に関す
	る検討(厚生労働省提出資料)
	別添7.2 生食用牛肉に関する検討試験結果(厚生労働省提出資料)